

都道府県別奨学生数

(昭和55年 3 月末現在)

都道府県	小 学 生							中 学 生				給与 合計	高 校 生					貸与 合計
	1	2	3	4	5	6	小計	1	2	3	小計		1	2	3	4	攻2	
北海道	15	14	23	22	34	36	144	(1)46	50	74	(1)170	(1)314	7	25	12	1	—	45
青森	4	7	11	11	19	24	76	(2)22	38	33	(2)93	(2)169	6	13	13	—	—	32
岩手	9	5	9	11	17	22	73	(1)21	26	34	(1)81	154	11	13	16	—	—	40
宮城	11	11	8	12	10	14	66	(1)14	22	33	(1)69	(1)135	1	7	2	—	—	10
秋田	—	—	—	—	—	—	—	—	4	2	3	9	9	1	—	—	—	1
山形	1	3	2	2	5	4	17	(1)5	11	9	(1)25	(1)42	1	4	3	—	—	8
福島	3	3	5	7	8	6	32	9	10	13	32	64	6	7	4	—	—	17
茨城	2	—	1	—	2	5	10	2	3	4	9	19	1	3	2	—	—	6
栃木	1	4	7	5	7	11	35	6	8	7	21	56	—	—	1	—	—	1
群馬	—	—	1	1	1	—	3	1	4	1	6	9	—	1	—	—	—	1
埼玉県	—	—	—	2	2	2	6	—	1	3	4	10	—	3	2	—	—	5
千葉県	2	2	3	—	6	3	16	10	9	15	34	50	4	2	—	—	—	6
東京都	3	—	1	2	4	2	12	2	4	3	9	21	4	2	—	—	—	6
神奈川県	3	2	5	3	4	4	21	11	8	3	22	43	6	2	4	—	—	12
新潟県	1	1	1	2	—	1	6	2	2	2	6	12	1	1	—	—	—	2
富山県	1	—	1	3	1	5	11	2	11	9	22	33	1	5	4	—	—	10
石川県	1	—	1	1	2	1	6	(2)4	3	4	(2)11	(2)17	—	3	1	—	—	4
福井県	3	3	2	5	1	4	18	4	5	8	17	35	2	3	5	—	—	10
山梨県	—	—	1	—	—	—	1	—	1	—	1	2	—	—	1	1	—	2
長野県	—	1	1	—	—	2	4	2	1	1	4	8	—	—	—	—	—	—
岐阜県	1	4	4	1	5	6	21	2	4	7	13	34	3	4	4	—	—	11
静岡県	1	2	3	2	5	2	15	6	5	7	18	33	2	1	2	—	—	5
愛知県	—	4	2	6	3	2	17	(1)6	5	6	(1)17	(1)34	1	1	2	—	—	4
岐阜県	—	3	—	4	5	6	18	5	5	5	15	33	1	—	—	1	—	2
岐阜県	—	1	2	2	1	2	8	2	1	2	5	13	1	—	—	—	—	1
岐阜県	1	1	—	—	—	1	3	1	1	1	3	6	—	2	3	—	—	5
岐阜県	2	6	3	5	15	9	40	8	13	17	38	78	3	5	6	—	—	14
岐阜県	1	3	—	1	4	3	12	3	3	5	11	23	5	2	3	—	—	10
岐阜県	—	1	—	1	1	4	3	6	4	13	17	2	3	2	—	—	—	7
岐阜県	—	1	1	2	4	4	12	6	5	7	18	30	1	4	4	—	—	9
岐阜県	1	4	2	2	6	9	24	5	9	11	25	49	4	1	1	—	—	6
岐阜県	—	3	—	—	1	6	10	6	10	4	20	30	—	1	1	—	—	2
岐阜県	1	1	—	2	5	2	11	4	—	5	9	20	—	1	—	—	—	1
岐阜県	9	10	10	12	27	17	85	(3)28	36	37	(3)101	(3)186	7	5	11	1	—	24
岐阜県	—	2	3	2	—	1	8	4	3	7	14	22	2	2	2	—	—	6
岐阜県	1	2	—	2	—	3	8	3	2	3	8	16	1	1	2	—	—	4
岐阜県	—	3	3	4	1	2	13	3	5	4	12	25	5	5	3	—	—	13
岐阜県	—	2	1	3	6	6	18	(1)11	7	8	(1)26	(1)44	2	3	6	—	—	12
岐阜県	—	—	—	—	—	1	1	—	1	—	1	2	—	—	—	—	—	—
計	78	109	117	140	212	229	885	(12)273	340	399	(12)1,012	(12)1,897	92	135	122	4	1	354

育英事業の仕事を
ふりかえって
増 田 俊 雄



私は、昭和五十四年一月定年により三十年にわたる水産の仕事に別れを告げましたが、その最後の五年間は、漁船海難遺児の仕事を担当させていただきました。この仕事をしていた当時を思い出しますと感慨無量の感じがいたします。

私が、この仕事を担当した頃は、第一次・第二次系統募金達成の運動が行なわれていた時でした。この間オイルショックに直面し、組合員の経営もきびしい時期でありましたが、組合員相互の暖かい御理解によって、昭和五十三年三月までに、本県は目標額を大中に上まわる好成績で、目標額が完遂できました。この際には漁協の役員皆様の並々ならぬご努力があったものと感謝に堪えません。このほか組合員以外の方々、匿名の方々、あるいはバザーの売上金の一部と称して送金して下さった方々もありました。特に感激させられたのは、焼津の幼稚園の四歳・五歳の兄妹が、自分たちのお小遣いをためて海

難事故でお父さんを失った全国のお友達を慰めて下さいと送金して下さいとありました。また、私は育英会の会議の折、船舶振興会からの助成金の要望を提案しましたが、これが去年から実現したことを伺い、大変嬉しく思っております。

このような努力で作られていった基金が、育英事業を向上させ、海難遺児とお母さんを励ます大きな力となっていることを、「漁船海難遺児とお母さんの文集」を拝見し、あらためて痛感しております。

どうぞ、育英事業発展のため、漁協系統をはじめ国民の皆さん、暖かいご支援のほどお願いいたします。また、遺児の皆さんには健康に留意され、皆さんを励ます全国の方々の期待に答えられるよう、勉強にいまそし立派な社会人になれますことを祈って止みません。

前静岡県漁業協同組合連合会 漁政課主任 増田俊雄

426 静岡県藤枝市大新島七三〇

のりの日記念キャンペーン

愛知県

チャリティーセール



愛知県漁連では、去る一月二十七日日本の味の普及等関係団体の後援をいただき、海難遺児育英資金の募金とりのPRのため、「のりの日記念キャンペーン・チャリティーセール」を行いました。場所は名鉄百貨店で、このセールは新聞各紙が掲載してくれたいこともあり、会場には定刻前から長い列ができ、開始して三十分程の間にすべて売り切れてしまいました。

この日、私たちはハンドマイクを持って人々に呼びかけました。「海難遺

愛知県漁連庶務課長

加藤 春 次

児、そんな子がいるんですか？」と問いかける子供連れの母親もあり、私たちは「海で仕事で、いろいろな事故で亡くなる人が少なくありません」と説明しました。「海難遺児」という言葉は、都会に住む人々には耳慣れないのかもしれない。

昨年は、売上げ金を地元の中野善意銀行にもと募金を分けましたが、本年は全額を海難遺児育英資金に寄贈することにし、福祉施設には、のり八千枚を送りました。

つめたい冬の海から採れる本県特産のりと海難遺児を励ます運動が、一体となったキャンペーンセールは大きな成果をあげました。今後もこの努力をつづけて行きたいと思っております。

なお、全国海苔貝類漁業協同組合連合会におかれても、毎年「のりの日」キャンペーンセールの売上げ金の中から、本会へ御寄附いただいていることをお知らせしておきます。

事務局

真心が見えます



静岡県下田市漁協 吉佐美支所

吉佐美支所では、この募金箱を昭和五十一年十二月より設置しました。ビン一杯にして貴会へお届けする予定でしたが、この程新しい募金箱をいただきましたので、途中ですがお届けいたします。

この募金箱は中身が見えるので、募

受ける人にもよくわかり済みです。お金が入りポトリと落ちるのを楽しみに、毎回入れてくれる子供もいました。このお金は釣り銭、子供の小遣い、また、突然の外来者にこの募金のことをきかれ説明して募金をしていただいたなど、このような小さな気持ちが積み重なったものです。

今後とも、貴会に多くの方々からの愛の手がさしのべられる事を願い、私達も続けていきます。

『募金・寄附金』お礼

昭和五十五年度募金・寄附金は、漁協系統はじめ国民多数の皆様からの暖かい御支援に支えられ、目標額を達成することができました。ここに御報告申し上げますとともに、厚くお礼申し上げます。

▽おことわり△ 三カ月ごとに掲載してまいりました芳名録が、前号からスペースの関係で、逐次くりさげて、掲載させていただいておりますので、よろしくご了承のほどお願い申し上げます。

- ※ 御芳名(敬称略)
- 一、漁協系統募金(系統扱い寄附金含む)
- (一二月) △山口県(木村博・下関市) △徳島県△香川県(県漁連指導部長 平尾英雄・御尊父香典返し) △青森県 △北海道△三重県△富山県
- (二月) △香川県△愛知県△香川県(県漁連参事 筋芳徳・御母堂香典返し) △鹿児島県(県漁連参事 理事 是枝昇) △佐賀県有明(鹿島漁協) △沖縄県

- (三月) △千葉県(木更津漁協) △神奈川県(中村亮二・町田市) △神奈川県(逗子市立小坪小学校六年一組) △高知県(県漁連業務部長 中野広中) △和歌山県(惣内信子・和歌山市) △三重県(県漁連金融推進部長 小島千治) △熊本県△北海道△香川県(丸亀漁協) △香川県(島ウメ・丸亀市) △宮城県(佐藤甚一郎・御尊父香典返し) △京都府(千歳光治・御母堂香典返し)

- 中野伝兵衛・香典返し) △静岡県△千葉県△長崎県△鳥取県(丸山専之祐・御祖母香典返し) △佐賀県有明海△山形県△福岡県有明海△岩手県△新潟県 △愛知県△広島県△沖縄県△熊本県 △大分県△和歌山県△兵庫県
- 二、一般寄附
- (十二月)(前号のつづき)
- ▽日本水産船舶部川崎祐吉・モービルブリリアント号乗組員一同(以上全日海経由) △環境庁技官中前明△芝野みな子(大阪府泉南郡) △横浜魚類K △小野エツ(佐賀県杵島郡) △匿名 △田平喜和子(大阪府宝塚市) △大真運輸(代表取締役 眞砂賀一) △大阪魚市場K △同△全漁連油質研究所・企画開発部 △同△野中千代(神奈川県横浜) △武田元彦(大阪府豊中市) △水産庁海洋漁業部遠洋課・西海区水産研究所 △同△匿名(大阪府宝塚市・朝日新聞大阪厚生文化事業団経由) △小林須美子(東京都大田区) △早川いさ(東京都新宿区) △北海道水産研究所 △同△香住漁業調整事務所 △同△北海道漁業調整事務所 △同△佐野純夫(東京都文京区) △田中康夫(千葉県松戸市) △佐藤幸一(新潟県新潟市) △日本魚商サービスKK △海洋水産資源開発センター △同△西海区水産研究所 △同△壁矢恵津子(東京都多摩市) △真下晴子(東京都武蔵野市) △農林中央金庫秋田支所 △同△佐野宏哉(水産庁海洋漁業部長) △水産庁資源課・水産流通課・漁業保険課 △同△柴谷享一郎・郁子(岡山県倉敷市) △匿名(愛知県岩津) △金沢世津子(長崎) △九州漁業調整事務所 △同△全水共普及部 △同△水産庁漁場保全課・漁船課・研究課・計画課・国際課・振興部沿岸課 △同△大藤栄造(東京都渋谷区) △全国まき網漁業協会 △匿名 △全漁連海苔海藻部・経理第二部 △同△仲本(千葉) △船橋市 △同△四団体親睦会 △京都さくら海洋少年団(朝日新聞京都支局経由) △木原誠(東京都世田谷区) △北海道拓殖銀行神田支店 △同△匿名(東京都杉並区) △中内久美子(兵庫県西宮市・朝日新聞大阪厚生文化事業団経